

むらやま若者よい！よい！通信 VOL.6

村山地域全体で県内定着・回帰に向けた機運の醸成を図るために設置された「オールむらやま若者定着推進会議」を構成する村山総合支庁と関係団体・機関等 41 団体の取組みをお知らせする通信です。

高校生のみなさん

自分の将来の暮らしのイメージはありますか。
どこに住み、どんな仕事に就くかは、
とても大切な選択です。
地元で働き、暮らすことを、
将来の選択肢のひとつとしてぜひ考えてみませんか。



村山地域の産業と企業の特徴を知ろう

データで見る山形のお仕事事情！



村山地域にはどのくらいの会社があつてどのくらいの人が働いているの？



事業所数

村山地域	26,647社
山形県	55,778社
	※全国32位



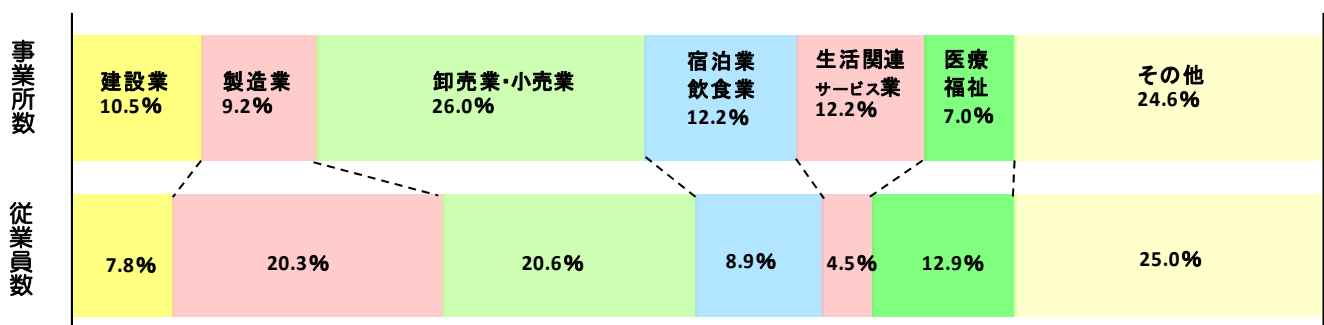
従業者数

村山地域	23万8,058人
山形県	47万5,435人
	※全国35位

市町村別に見ると事業所数 No.1 は山形市で、県全体の約20%を占めています。
従業者数も山形市が最も多く、県全体の約30%を占めています。

※『平成28年経済センサス活動調査』

どんなジャンルの会社が多いの？



事業所数は「卸売業、小売業」が6,916事業所と最も多く、次いで「宿泊業、飲食業」が3,246事業所、「生活関連サービス業」が2,813事業所となっています。

「働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業」

村山地域には、独自の優れた技術や製品を持つ企業が数多く存在します。そういった企業で就職し、村山地域での暮らしについて具体的にイメージができるよう、先輩方のインタビューの概要を紹介します。

これらは、山形大学の大学生が企業を訪問し取材したものです。

この他にも大学生目線から見た企業の魅力を、Instagramで発信しています。

「#よしよしむらやま」で検索！！



YAMAGATA.WORK.LIFE



村山地域の企業は

働きやすさにも挑戦しています！

《ミクロン精密株式会社》技術部技術1課 米野友花さん（山形市）



米野さんは、東京都にある拓殖大学外国語学部を卒業後、家族の近くで就職したい、大学で専攻した中国語を活かしたいという思いからミクロン精密に2014年に入社し、現在は、技術部技術1課で勤務されています。

主な仕事として、技術担当の方がお客様へ作成した機械の仕様書をもとに、社内で機械を製造するための指示書を作成しています。

今まで以上の製品を作ろうという向上心を持ち続けて仕事をする先輩の姿を尊敬しており、一人ひとりが自分の仕事に責任を持って働いていることが“グローバルニッチトップ企業”などの受賞につながっているのではないかと感じているとのこと。

子育て中の米野さんは、家族の近くや、自然が多く環境の良いところで子育てしたいという思いがありました。また、高校時代の友人など同世代で同じようなライフステージを歩んでいる仲間が近くにいると安心だと感じているそうです。

今後は、今の仕事を一人前にできるようになることが一番の目標ですが、学んできたことを活かして中国のお客様へ提出する書類の翻訳業務などの勉強も続けていきたいと考えているそうです。



《株式会社スガサワ》製造部製造課 我妻拓哉さん（寒河江市）

我妻さんは、山形大学工学部を卒業後、2019年に入社し、現在は、製造部製造課に勤務されています。

航空機用部品の製造を担当し、専用の機械を使って材料を加工しています。

入社当初は取り付けのみを担当していましたが、最近は段取りの準備も含めて担当するようになり、難しい仕事、大変な仕事を乗り越えた時は、達成感を感じているそうです。

働いて感じる魅力は、社内の雰囲気が良いことや、分からないこと、やりたいことがあれば上司と一緒に考えてくれることです。会社内でも、業務の改善点と対策について定期的に発表する機会もあります。先輩との関係も良く、最初は先輩に教えてもらいながら仕事をしていたそうですが、今でも、新しい機械を担当する時など、何かあれば先輩に聞きに行ったり、空いた時間には他愛もない話や世間話をするそうです。



今後は、自分ができないことを少なくしていくこと、慣れている機械を使った加工で、可能な限り質の高い製品を作ることを目標としているとのこと。

コロナウイルスへの対応で増えた自分の時間で、機械操作に関わる資格の勉強を考えているそうです。

《アイジー工業株式会社》研究開発部機能開発チーム 奥山千尋さん（東根市）



奥山さんは、福島県にある日本大学工学部を卒業後、2014年に入社し、現在は、研究開発部機能開発チームで勤務し、サイディングとルーフに使われている断熱材を担当しています。

アイジー工業の製造ラインはすべて社内で設計しており、安定して毎日生産できること、商品の性能がきちんと出るようにすることの両立が重要で、研究開発部と製造担当間などで相談しながら、より良いものをつくり、後戻りのない開発を心がけているそうです。

就職の際、家族や友人がいる山形に帰ってきたかったという奥山さん。それで調べたときに「日本一の会社があるじゃん」と、金属サイディングで国内シェアトップのアイジー工業への入社を決めたそうです。実際に働いてみて、会社の雰囲気もよく、社長との距離が近いのもよいところだそうです。

山形・東京の「仕事」「暮らし」の比較

通勤時間

山形 19.2分
東京 44.5分



(総務省「平成30年住宅・土地統計調査」)

待機児童率

山形 0.17%
東京 1.19%



(厚労省「平成31年保育所関連等状況取りまとめ」)

1か月の家計収支

山形 10.1万円の黒字
東京 9.1万円の黒字



(総務省「平成26年全国消費実態調査」)

夫婦共働き世帯割合

山形 57.9% (全国2位)
東京 49.1%



(総務省「平成29年就業構造基本調査」)

若年者非正規の職員・ 従業員の割合

※若年者：15～34歳

山形 26.1
東京 31.2



(総務省「平成29年就業構造基本調査」)

出産・育児のために離職 した女性の割合

山形 4.7
東京 5.9



(総務省「平成29年就業構造基本調査」)

保護者の皆様へ 卒業後はどこで働く？どこに住む？ 親子で考えてみてください。就職のこと。

将来を考えると重要になってくるのが、「どういった仕事をするか」「どこで暮らすか」…。親子で話し合ってみませんか。

この情報誌は、村山地域の若者定着へ向けた情報発信を行い、地域の企業の魅力や就業環境の魅力を伝え、地元で働くことのイメージを持っていただくために作成したものです。

村山地域では、若者の定着推進を産業、教育、金融、労働、行政各界が一丸となり、「オール村山」として取り組んでいます。

保護者の皆様にも是非ご覧いただき、お子様と将来を話す一助となれば幸いです。



【この情報紙に関する問い合わせ】

発行：令和3年1月

山形市鉄砲町2-19-68

山形県村山総合支庁地域産業経済課

TEL：023-621-8443